

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	介護保険サービス（通所系サービス）
事業所名	ゆいの里幸津川デイサービスセンター （事業所番号 2570700050）
代表者氏名（管理者）	管理者 増井 宏典
法人名	社会福祉法人慈恵会 ゆいの里
定員（利用人数）	25名（1日につき）
施設・事業所所在地	滋賀県守山市幸津川町1549-3
T E L	077-585-8900
F A X	077-585-8950
電子メール	h-masui@yuinosato.or.jp
ホームページアドレス	https://www.yuinosato.or.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和6年9月27日

3 評価の概要

○ 総合評価

ゆいの里幸津川デイサービスセンターは、野洲川沿いの昔ながらの街並みの中にある単独のデイサービスです。近くには中洲親水公園や川向うには野洲川歴史公園サッカー場ビッグレイクもあり、自然豊かな環境に位置しています。社会福祉法人慈恵会が運営母体で、法人の理念である『くらしをよくする、まちをやさしくする』を具現化する介護サービスの提供に努めています。基本方針に掲げる「重度化予防・早期発見（いつもとの違いに早く気づく）・ご家族の支援」に基づき、利用者の尊厳を大切にした自己決定・自立支援に向けたサービスが提供されています。また、法人として地域社会の中で専門性を活かすことを目標に、地域との連携と地域貢献を大切にした各種事業に取り組んでいます。

令和6年度は、法人事業方針として『試行錯誤する』をスローガンとして、常に学び変化し続ける組織を目指しています。幸津川デイサービスセンターでは、今年度は「くらしをよくするサービス」「学べる、つながれる組織・チーム作り」「多くの方にケアを届ける」を事業計画目標に据え、コロナ禍で滞っていた「家族介護者教室・家族会」の開催や、職員による「自主的な勉強会」「リスクマネジメント研修会」の実施、デイとして「安定した稼働」「居宅との連携強化」「介護の生産性向上に向けた業務改善」など、具体的な取り組みを行ってきています。このように地域に根差した通所介護事業所として、地域の利用者ニーズに応じた介護保険サービスを取り入れ、地域住民の在宅生活を支えています。

○ 特に評価の高い点

1. 地域住民やご家族と連携した施設運営

法人の理念に基づき地域貢献を大切にした施設運営が行われています。法人が取り組む地域活動としては、「サロン講師派遣事業」、居場所作りとしての「気まぐれマルシェ」の開催、「フリースペース」の開放、「百歳体操」や「フリーマーケット」などの各種イベントの開催、居住支援法人への取り組み、保育園の開所等々、様々な地域福祉活動に取り組んでいます。

同法人の通所介護事業所の役割として、幸津川デイサービスセンターでも在宅介護を担うご家族への支援を行っています。看護師が常駐している強みを活かし、医療ニーズにも対応できる体制を整え、地域のどのようなケースも利用を断らないことを大事にしています。また、定期的な利用者・家族アンケートの実施や連絡帳、直接の手紙等で家族の悩みごとなどを把握し、自宅とデイでの利用者情報の共有や在宅生活に活かせる助言を適宜提供しています。

地域のボランティアや実習生の受入れ、幼・保・小学校の子どもたちとの交流、看護師による機能訓練や栄養状態の指導など、在宅生活を支えるデイサービスとしての機能を地域住民へ提供しています。このように利用者家族だけでなく地域住民との交流を通じた福祉ニーズの把握にも努め、地域に根ざした運営に努めています。

２．労働環境への配慮・ストレス管理

「働きやすい労働環境」をつくるため、様々な取り組みを実施しています。法人の常設委員会「衛生委員会」において、職員の安全と健康を守る検討を行っています。メンタルヘルス・夜勤者検診、ストレスチェックの実施、腰痛予防などの啓発活動、感染症対策に係る定期会議や予防研修、労働災害を防ぐための職場の巡視や改善提言、「1 on 1」という個別面談の実施、リフレッシュ休暇の導入等々、様々な働き易い職場を目指した計画が実施されています。

職員ヒアリングにおいても「人間関係の良い職場」「楽しいチームワークの良い職場」「プロ意識が高い、人として魅力のある人の集まり」などの意見が聞かれ、良い職場環境であることが確認できました。

３．職員個々のスキルアップが図れる体制づくり

法人内の「生産性向上委員会」において、限られた人材・設備・時間を有効に活用するための検討が続けられています。IT・ICTによる生産性向上への取組、業務アプリの活用、事業所共通のシステム導入、会議のコンパクト化など、法人を挙げての業務改善に取り組んでいます。オンラインによる研修受講（初任者研修や階層別研修のオンライン化）などにより、職員一人ひとりが自らのキャリアアップを考え、効率的な研修受講ができています。このように職員が自らの仕事の目標を具体的に理解しながら仕事に取り組めることは、職員のモチベーションアップに繋がっていると考えます。

○ 改善を求められる点

１．利用者や家族に向けた情報発信の必要性

法人の理念やビジョン・クレド・事業計画などは、ホームページやパンフレットで明確に記載されています。また、幸津川デイサービスセンターが頑張っている家族や地域支援などもチラシや口頭で説明をしていますが、まだまだ十分に理解するまでには至っていないと考えます。今後は、再開予定の家族会や季節のイベント等の機会を通じて、繰り返しの説明や動画などを活用してより理解を得る工夫が望まれます。

2. 事業所の強みを活かした運営について

法人内には4か所の通所介護事業所がありますが、それぞれリハビリ特化型デイと認知症対応型デイ、そして地域の在宅介護を支える従来型の幸津川デイサービスセンターに役割が分担されていると伺いました。今後、従来型のデイサービスでは運営が難しいと言われている中で、幸津川デイサービスの「強み」「売り」が必要だと思われます。今回の第三者評価を通じて感じた幸津川デイの強みは、複数の看護師が常駐している点だと考えます。

評価結果整理表の中でもb評価として指摘していますが、家族との密な情報交換や助言を活かして、機能訓練だけでなく口腔ケアの徹底や食べる事への意欲作り、医療ニーズへの対応など「何があっても最後まで自宅で過ごすことをトコトン支えるデイサービス」という強いアピールが必要だと考えます。また、利用者も高齢者だけでなく障害サービスも視野に入れた共生型デイも売りになるでしょう。職員と一緒に自事業所の「強み」「売り」を検討されることをお奨めします。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度は、第三者評価としてしっかり評価していただけたと感じております。

自分たちが提供させていただいているサービス内容について、評価できる点、もう少し工夫をすることによってよりよくなる点、改善点を明確に伝えていただきましたので、全職員で共有し、今後のさらなるサービスの質の向上につなげていきます。

評価中にもご指摘いただきました、特にコロナ禍において実施できていなかった「ご家族との連携、関係強化」を進めていきたいと考えており、再スタートとして令和6年12月8日(日)に開催することができました。今後も、定期的開催して予定です。

看護師を複数配置していること、入浴設備や送迎車が充実していることを強みとして、医療依存度の高い方や機能訓練が必要な方、重度の方の受け入れもできる限りお断りすることがないように努めていきたいと思います。

これからも、利用者様や家族様、そしてケアマネジャーの方に対して魅力あるサービス提供を進めていきます。

また、今回評価をしていただいたことでの気づきもありました。本当にありがとうございました。